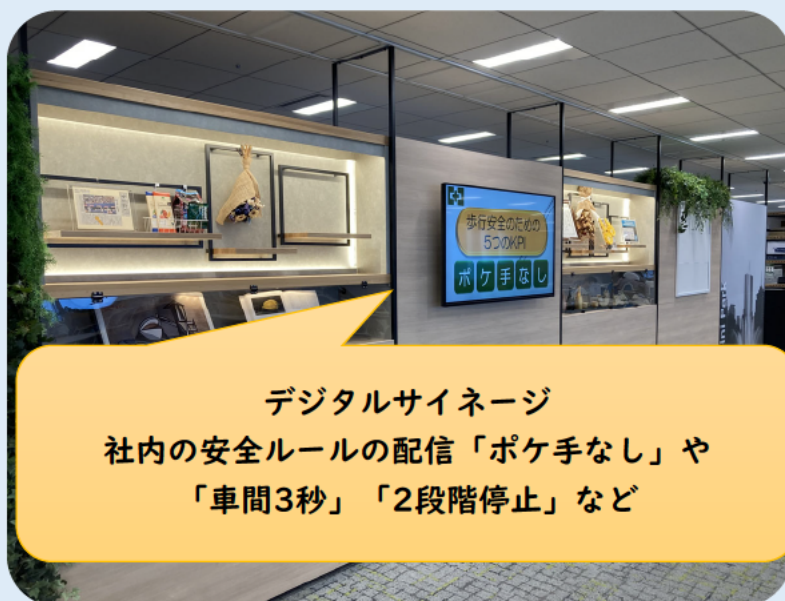


## 事務系オフィスの危険個所の「見える化」

事務系オフィスの危険有害性を確認して、「見える化」したものをデジタルサイネージや安全衛生ミーティングなどを通じて展開して災害防止する。

### 展開の方法



デジタルサイネージ  
社内の安全ルールの配信「ポケ手なし」や  
「車間3秒」「2段階停止」など



安全衛生ミーティングの風景  
その時々々の安全に関するテーマを  
展開して、全員で話し合い安全意識  
の醸成をしている



職場安全立哨の風景  
ハンドポップで、交通安全の注意事項  
歩行安全のポイントを記載して注意して  
ほしいことを見える化

## 展開事例① ドアストッパーでの転倒防止

ドアを開けるために首からストラップで掛けている社員証を認証機にかざす必要があるが、その時にドアストッパーの近くに足が移動する。ドアを開ける動作をする時にドアストッパーがあることを忘れて足を引っかけて転倒する危険性がある。(ドアストッパーは黒色でカーペットと同化して見えにくい。)



赤とオレンジの色付きの布を貼り付けて「見える化」

## 展開事例② 集配室の接触防止

集配室は、壁の向こうに人が居るかがわからない。集荷の時間付近では人の行き来も多くなり、接触事故発生の危険性がある。



安全ミラーを取り付けて壁の向こう側を「見える化」

### 展開事例③ 血圧測定場所の定位置「見える化」

血圧測定ができるように机とイスを準備しているが、不特定多数の人が利用するので、いつも位置がずれて通路にはみ出している。はみ出している机やイスに足を引っかけると転倒災害になる危険性がある。



トラテープを用いて、置き場所の明示を行った  
(ナッジ活用)

### 展開事例④ ドライブレコーダー映像を用いた交通安全

運転特性は本人ではわかりにくいところなので、ドライブレコーダー映像を使って本人に「いい運転」「改善したほうが良い運転」を連絡することにより、交通安全の意識向上を促す。

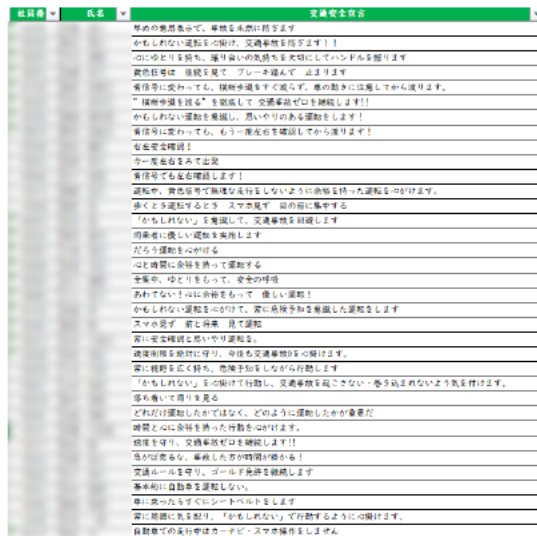


自分の運転した映像を機械の視点で「見える化」



## 展開事例⑤ 安全宣言「見える化」

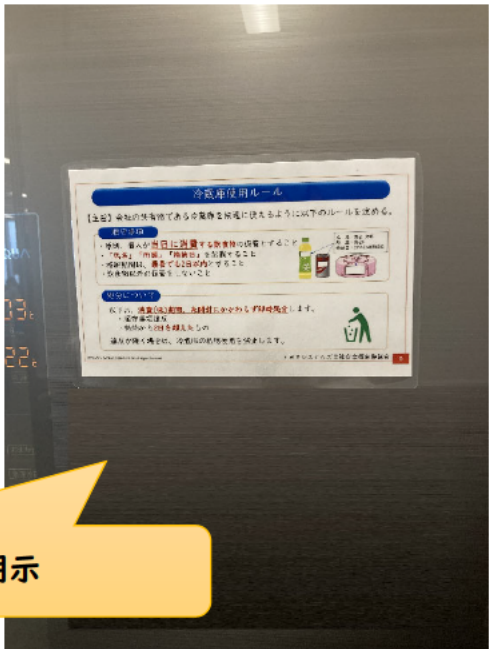
全員の安全宣言を社員がいつでも確認できるようにして展開して「安全意識の向上」をはかる。



社内web上でいつでも見れるようにしてある

## 展開事例⑥ 冷蔵庫の利用ルール「見える化」【衛生】

不特定多数の人が使う冷蔵庫は、衛生上きれいに使う必要がある。しかしなかなかルールが徹底されないのが、イラスト入で注意事項を記載して掲示することで周知をはかった。



イラストを用いて注意事項を明示